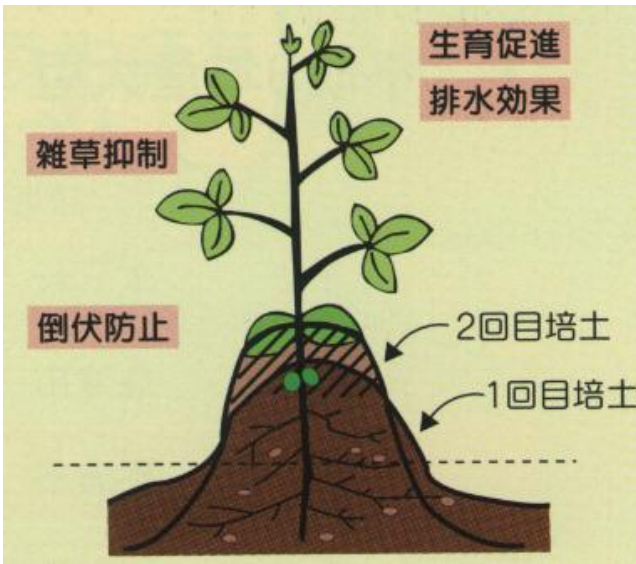


大豆情報 第3号

平成30年6月21日
JAとなみ野米作改良対策本部
となみ野農業協同組合
砺波農林振興センター

1回目の培土は、ほ場の乾きを確認して、晴れ間に速やかに実施しましょう。
培土は確実に2回行って、大豆の生育量を確保しましょう。

1. 晴れ間とほ場の乾きを見て、早めに確実な培土を！



【1回目培土】

本葉2～3葉期(播種後20～25日後)頃に子葉が埋まる程度

【2回目培土】

本葉4～5葉期(1回目培土の10日後)頃に初生葉が埋まる程度

株元にしっかり培土し、**×**
「培土もどき」にならない
ように注意しましょう。

【培土の目的】

- ① 排水促進
- ② 根圏拡大
- ③ 雑草抑制
- ④ 倒伏防止

2. 雨水がたまらないように、溝を排水口に連結しましょう。

培土後は、額縁排水溝や培土でできた溝を手直しするとともに、溝と排水口を確実に連結し、ほ場内に水がたまらないようにしましょう。

【お問い合わせは】

砺波農林振興センター農業普及課砺波班 32-8113
となみ野農業協同組合生産企画課 32-8619 【einoubu@ja-tonamino.or.jp】(砺波市宮沢町3-11)
営農センター 32-8623

又は、最寄りの統合支店へお問い合わせ下さい。

支店名	TEL.	支店名	TEL.	支店名	TEL.
中央支店	32-3107	北部支店	32-2754	庄西支店	33-4130
庄東支店	37-0047	福野支店	22-3018	井波中央支店	82-1552
稲種センター	82-0117	資材配送センター	32-5440	あぐり館	32-5440

栽培履歴簿の記帳を行うとともに、「農業生産工程管理(GAP)」を確実に実施しましょう！